



私たちは、これまで豊かな荒浜の自然を享受しながら暮らしてきました。
その素晴らしさを多くの方ともう一度考えませんか。
次代に繋がるふるさと荒浜をみんなで考えましょう。

——— ともに活動している団体 ———

NPO 法人まちの縁側育くみ隊

地域の実情に応じて様々な機能を併せ持つ、地域に開かれた「新たな公共の場」としての〈まちの縁側〉を育むことを目指して活動する NPO。2012 年 5 月に開催した「荒浜フォーラム」を「荒浜再生を願う会」との共催のもとに取り組みました。

【WEB】 <http://www.engawa.ne.jp/>

東北工業大学 建築学科 新井信幸研究室

あすと長町仮設住宅を中心に各地の仮設住宅で展開している「仮設カスタマイズ隊」等、生活の場づくりのためのアクションを通じたコミュニティ活性化に積極的に取り組んでいる。

【WEB】 <http://arai-lab.cafe.coocan.jp/>

仙台平野再生支援ボード

荒浜地区や三本塚地区（仙台市若林区）を中心に、生活をふるさとで再建しようとする住民主体の活動に寄り添い、学習会や地域づくりプランの作成を通して、専門的な立場からサポートしている。

【WEB】 <http://sites.google.com/site/sendaiboard/hom>



荒浜フォーラム実行委員会からのお知らせ（荒浜再生を願う会）

毎週月曜日 19 時より、東通仮設住宅集会所にて定例会を行っています。お気軽にご参加ください。

連絡先：担当 佐藤 sunset@japan.email.ne.jp

（本フォーラムは公益財団法人トヨタ財団、公益財団法人三菱商事復興支援財団の助成を受けて開催しています。）

おら浜 荒浜フォーラム

ふるさと荒浜の里海を考えよう

荒浜にあった、自然を分け合う豊かな暮らし。

これまでの暮らしを活かした「これからの暮らし」について、
一緒に考えてみませんか？



「街道をゆく 嵯峨散歩、仙台・石巻」より
司馬遼太郎

全長四十七キロという、
なんとも長大な遺跡なのである。

ともかくこれほどの美しきで
いまなお保たれていることに、
この県への畏敬を持った。

参加費無料 参加者全員に粗品贈呈

開催日時：2013 年 5 月 25 日（土）13：00～18：00
26 日（日）9：30～16：00

会場：七郷市民センター（若林区荒井字堀添 65 番地の 5）
〔荒町経由深沼・農業園芸センター前行 七郷市民センター前下車 徒歩 4 分〕



荒浜フォーラム実行委員会

■ 荒浜フォーラムの開催主旨について

3.11の大震災後2年をむかえましたが、いまなお先の見えない生活を余儀なくされている人たちが大勢おられます。その中で仙台市荒浜では、「災害危険地域」を超えて、現地に戻り安全安心を前提にしつつ、ふるさと再生を願う住民の活動が高まっています。



■ プログラム

1日目 2013年5月25日(土)

- 13:00～15:00 現地見学
- 15:15～15:30 現地活動報告
- 15:30～15:50 本フォーラムの主旨
- 15:50～17:40 シンポジウム1「災害危険区域を問う」
- 17:40～18:00 まとめ・アンケート
- 18:00 閉会
- 19:00～21:00 懇親会

2日目 2013年5月26日(日)

- 9:30～10:00 幻燈会～ふるさと再生活動
- 10:10～12:30 ワークショップ～荒浜再生をひらく活動計画づくり
- 13:30～15:50 シンポジウム2「荒浜再生の今後にむけて」
- 15:50～16:00 まとめ・アンケート
- 16:00 閉会

■ シンポジウム1「災害危険地域を問う」～荒浜再生への道をひらく

司会：新井信幸(東北工業大学)

- ・「災害危険地域」とまち育て 北原啓司(弘前大学)
- ・再び元の居住地に戻ることはできるのか? 田中正人(都市調査計画事務所)
- ・新たな農ある暮らしの復興デザイン 三井所隆史(みいしょ計画研究所)
- ・荒浜おら浜に住み、私たちの里海を守る 中島敏(荒浜住人)
- ・災害の実態に即した新しいしくみづくり 磯野弥生(東京経済大学)

■ ワークショップ 荒浜再生をひらく活動計画の議論風発

- (1) 荒浜再生プランをつくろうー集約型または分散型等
- (2) 農の風景を紡ごう
- (3) 「災害危険地域」を乗り越えよう
 - ー行政へのアプローチに必要な体制・組織づくり
 - ー「総体安全計画」を作ろう
- (4) ふるさと荒浜の里海を考える仲間をひろげよう・その他

各テーマごとにグルーptーク & 発表

■ シンポジウム2「荒浜再生の今後にむけて」

司会：延藤安弘(NPO法人まちの縁側育くみ隊)

〈話題提供〉

- (1) ワークショップの報告
- (2) 住民が主人公、若者が担い手となるふるさと再生へ(宮西悠司)

〈てい談〉

- ・未来の記憶を記録する 森まゆみ(作家)
- ・住民と行政の対話のしくみづくり 室崎益輝(ひょうご震災記念・21世紀研究機構)
- ・ふるさとのマネジメントの担い手 結城登美雄(地元学研究実践家)